

グループ訪問

農事組合法人“^{ひじり}聖の郷かわしり”^{さと} アスパラガス栽培を法人化



初代組合法人
川邊澄男さん

雇用の場を創出

43戸の大家族健全経営をめざす

「ほ場整備の話を出して8年余り、長い道程でしたがやっとここまでできた。今、アスパラガスを収穫したところですよ」と、温和な優しい笑顔で、応対していただいた初代組合法人の川邊澄男さん。全体で24町余り、財政難で今年の完成が遅れる心配ではやってゆけない。世羅のアスパラガスは大阪市場でも、ゆるぎない基盤を作りつつある。法人でやる事で稲作のカバーができ、何よりも組合員の働く場ができることが大きい。今、5反5畝だが1町が目標、その他、大豆を7町栽培するが、主力は、江戸時代に渡来したというアスパラガスとしたい。経営は、補助金などが減らされている中、借金経営はしないこと。米づくりの機械は全てリースで対応、常に健全経営をめざしたい」と話される。今の時世、固定経費増は経営を圧迫する。ほんとに自信に満ちたたのもしい限りの



巨大なアスパラガスハウス棟

言葉、聖神社からいただいた「聖」の文字、澄みきった清らかな純粋さが、がっしり組んだ43戸の大家族かわしりを永遠に高いところから、見守っていただけだろう。「川尻」は鎌倉時代の高野山の文書にも備後川尻社とある。歴史ある聖神社がくださった「聖の郷かわしり」誕生は後世にのこる出来事であるような気がしてならない。個人栽培を退め法人栽培で取り組んだ勇断な決意は、必ずや、雇用の拡大をなし、ふるさと、かわしりにいつまでも幸をもたらしてくれるだろう。ガンバって欲しいの一念のエールを送り組合長宅を後にした。

議員提案

●議員報酬を削減

(議長1万1200円、副議長6、900円
常任・運営委員長6、700円
常任副運営委員長4、300円
議員4、200円)

- 核のない世界の実現を求めるもの、
- 地方財政の充実強化を求めるもの、
- 米兵の度重なる犯罪行為の抑制を求めるもの

編集後記

議会も終わりに予算が決まると同時に職員60名余りが大異動、新年度の行政事務がスタートした。新しい職場で初めての出会いやなれない仕事とまどいストレスも倍増する。でもこの試練が後に大きく役立つ。議会事務局で人が話しているのをパソコンに打ち、おじさん族を驚かせていた宇坪局員も、支所に配属、こんどは住民の皆さんと直接接触できる窓口業務。違った気苦労が起きてくる。負けないで能力の限界に挑戦してくるだろう。議会広報も、今回委員の

欲張った大きな目的意識が、賞に結びついた。議員の任期も残りわずかだが、最後まで活動報告を町民に知らせるのが委員の使命、意識の低下を招かないよう、切磋琢磨しながら届けたい。職員の配置転換も試練から逃れてはいけない。前向きに、後に開ける大きな夢を持ちつつあれば、耐えられる。多くの人との出会いを築き、何でもこなせてくれる人材がこの町から誕生する事を期待したい。(小川)

お詫びと訂正

- NO.13号P6、上段、写真説明の「みつば作業所」は、「社会就労センターみつば」です。
- NO.13号P13、6段目の標題で「身体障害者自立支援制度その後」は「障害者自立支援法のその後」です。

訂正しお詫び申し上げます。

議会広報調査
特別委員会

委員長／小川信晃
副委員長／仙光保喜
委員／松本・末盛・田坂・松浦

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は6月です

無線放送でお知らせします。